



うんめいの子犬

たとえそれがどんな形でも、わくわくしちゃう出会いの瞬間。その手の中に子犬を抱きしめた時から、転がり出すめまぐるしい毎日。これは、出会うべくして出会ったうんめいの子犬、キューピーとプリンにまつわる素敵なお話。

「パイドの子で振り分けが綺麗な子か、片パンチの子を探してもらえませんか？」

なつかしいなあって。同じだったなあって。その気持ちよくわかりますよって。いつも感じますね。現在の僕はZAIHOOを通してお客様に「運命の子犬」を紹介する側ですからね。キューピーとプリンとの出会いの経験がスゴく役立っています。あの時の気持ちや感覚は大切に記憶してるんです。生涯忘れることのないあの出会いを…

パイドの子犬がやってきた！

ウチに迎え入れた1ブヒ目はキューピーでした。その頃、僕は愛犬となるフレンチブルドッグを探してペットショップをグイグイまわっていました。でも、僕の地元はプチ田舎だけにフレンチブルドッグの子犬自体が少なかったんです。たしかにペットショップにはいるんです。でも、いるんですけどいいんです。僕はフレンチブルドッグでも「絶対にパイドの子犬がほしい！」とこだわっていたんです。子豚のような美しいスタイル。放牧をそる牛柄模様。団塊の

世代を感じさせる面構え。なのにジャンルは犬。もう、どうしてもパイドの子犬がほしかったんです。半年ほど探しまくり、何度かパイドの子犬にも遭遇しましたが「これってばウチの子！」ではなかったんです。

だからネットで！なんて単純な感じではありませんでした。その当時の僕はパソコンも初心者でヤフオク程度がいっぱいいっぱい。なんとか検索してパイドの子犬にたどりつけても「ネットで子犬を買うの!?!」的な考えが働き躊躇してしまふ。もちろん、子犬の良し悪しなんてまったくわからない。フレンチブルドッグという高価なパートナーを決定するには不安要素が多すぎる…そんなとき友達から、可愛いパイドの子犬発見！という件名で1通のメールが届きました。届いたメールに貼られたURLはブリーダーサイトの子犬情報を開きました。その瞬間ですね。「これってばウチの子!」恋はするものじゃなくて、落ちるもの。どこかで聞いたあれですね。まさにあの感じ。あの瞬間、僕は恋に落ちました。この子と暮らしたい！ そう思いました。ほしい！ 飼いたい！ じゃなく、暮らしたい！ そんな感覚でした。

ネットで子犬を買うの!?!

ネットという不安はありましたが、友達に確認してみると間接的に知り合いで信用できるブリーダーさんとのこと。恋しちゃったんですから大切なのは勢いでいい。勢いをそのままに電話してみよう！ブリーダーさんはフレンチブルドッグ専門の方で、本程度の知識しかない僕にもわかりやすく説明してくれました。さらに詳細な写真もメールで送っていただきました。「ネットで子犬を買うの!?!」ネット初心者の僕がほとんど解消されていくのがわかりました。というかむしろネットのほうが正解なんじゃないかと思いはじめました。だって半年かかって必死に探しても近所のペットショップという限られた範囲ですもん。それならネットでフレンチブルドッグ専門のブリーダーさんから探すほうがあきらかに…です。よね。気になる子犬がいたら見学に行けばいいわけですから。

子犬はブリーダーさん宅まで直接引き取りに行くことになりました。月並みな言葉で申し訳ありませんが、写真の何十倍も可愛いパイドの子犬がそこにはいません。初めてパイドの子犬と目が合った瞬間は生涯忘れることはないでしょう。



これから始まる撮影の打ち合わせ中。キューピー&プリンもしっかり両耳を立て聞いている。キューピー「OK! OK! イメージはわかったから安心してよ!」プリン「OK! OK! パパッと終わらせて飲みにいこうよ、ミルクを!」



写真●工藤朋子 文●はつん



その手に持ったオヤツ食べられるの？
 ちゃんと「マテ」するからちょうだいね。
 その手に持ったオヤツ食べられるの？
 好きなだけ写真撮っていいからちょうだいね。
 その手に持ったオヤツ食べられるの？
 食べられるって信じてるからちょうだいね。

少し震えるバイドの子犬を連れ、僕は車を走らせました。30分ほど経った頃、バイドの子犬は少しずつ少しくつぱつぱにしがじめます。目が合うとすぐそらして下を向いてしまうバイドの子犬を、僕は何度も何度も繰り返し撫でてあげました。1時間ほど走りサービスイリアで休憩をしようとした車内で、僕はバイドの子犬に水を飲ませました。バイドの子犬は舌を出して上手にピチャピチャと水を飲んだあと、僕の目を見ながら僕の腕に頭をのせました。正直、涙が出そうになりました。僕はバイドの子犬にいきなり涙を見せたらかっこ悪いと思い、丁寧に腕を引き、車を走らせました。その瞬間です、僕は生まれて初めて見るほどの大きな大きな虹を見ました。僕の走る高速道路に、まるでトンネルのように大きく大きく架かる虹を見ました。

「ドーン！」僕は意味なく大声で叫びました。

ブリンドルの子犬がやってきた！

んちゃブヒに成長しています。僕は仕事柄、家にいる時間は長いのですがパソコンから離れられない日々を送っていました。「はつんよ〜 ヒマだよ〜 いい加減遊べよ〜」容赦ないキュービーのプレッシャーに耐えながら、僕はまだかまだかと待ち続けます。「はつんさん！ 化け物みたいな子犬が産まれましたよ！」ブリーダーさんから連絡が入りました。そうなんです。僕はキュービーを迎えてすぐにZAIHOOを始めようと動き出したので、その頃にはフレンチブルドッグ専門のブリーダーさんとママに連絡をとるようになっていました。「良質なブリンドルの子犬が産まれたら教えてください」僕はキュービーのプレッシャーを予感してブリーダーさんをお願いしてたんです。

化け物みたいな子犬。この頃の僕は海外的フレンチ犬舎にも少し詳しくなり始めていたので、子犬に対して目がこえてきていました。期待の中、ブリーダーさんから届いたメールの中は海外レベルの子犬でした。見事に化け物みたいな子犬です。ヨーロッパの有名なフレンチ犬舎で産まれる子犬と比べても、何の見方もしないハイレベルなブリンドルの子犬がそこにいたんです。やはり例のあれで



ZAIHOOウェアの中でも強烈なインパクトを放つ「CRAZY-PATTERN ON VELOURS」。3色のベロア生地を罫沢にグラデーションさせたクレイジーパターン仕様。キュービー & プリンのお気に入りの一着。

すね。「これってばウチの子！」優良なフレンチブルドッグ専門ブリーダーさんというのは数少なく、日本全国に散らばっているのが現状です。だからこそハイレベルなフレンチブルドッグを目指すには強固なネットワークが生まれるのです。ブリンドルの子犬はウチから遥かに遠いブリーダーさんの所で産まれた子犬でした。

空輸で子犬が送られてくるの!?

初めて空輸と聞いた時、なぜあんなにびっくりしたのか今になってはわかりません。もちろん、夏場の暑すぎる時期や時間帯に空輸なんてしません。優良ブリーダーなら当たり前のことです。子犬は飛行中、空調管理もされている客室と同じ程度の室内環境にいます。

飛行場でよく見る貨物コンテナなどではなく、別の専用室にいます。僕はブリーダーさんと話し合い、引渡し日を決めて羽田空港に到着する時間を確認しました。予定より少し早めに着いた僕は貨物専用の建物を探しました。空港には貨物専用の建物があり、その建物の中に各航空会社の「貨物受け取り専用カ

ウンター」があります。子犬はその専用カウンターで受けとることになります。飛行機の到着後、子犬がカウンターに到着するまでにかかる30分〜40分は二ヤけまくりでした。

キャリーに入って専用カウンターに到着したのはキュービー同様、写真の何十倍も可愛いブリンドルの子犬です。僕は初めてキュービーと目が合った瞬間を思い出しながら近づきます。震えてるかな？心配して覗いた僕を覗き返すブリンドルの子犬は「クカー！」と大きなあくびをしました。ほほ緊張してません。さらにはキャリーの入り口を手でガリガリしながら出せと言います。どうしたんだらう!? すぐキャリーを開けてやると、そのまま僕にしがみつき目をシバシバしながら寝ようとします。えええ!! もうちょい初対面ばい感じ出してよ!!僕はうれしすぎる不満をうれしすぎる顔で言いました。「あなたが飼い主? さあ帰ろうか!」ブリンドルの子犬は帰りの車内でプヒュプヒュと立派なイビキを奏でていました。虹はでませんでした、虹がでそうなヨダレを垂らして寝ていました。

「ドーン!」僕は起こさないように小声でつぶやきました。

僕は仕事柄ブリーダーさんと接することが多い。ブリーダーさんというのは色々な意味でクセのある方が多い気がする。いや、もっと正確にいうと人間的にキャラの濃い方が多い。ブリーダーという枠でなく、人間的な枠に魅力がある方が多いのだ。もちろん僕はそんな方とお話するのが大好きだ。BEAUTIFUL KATOKENNEL代表 加藤敏明さん。今回ブリーダーという枠から人間的な枠までお話を聞かせてくれた。

——まず、加藤さんがフレンチを始めたきっかけは?

フレンチを始めたのは12〜13年前ですね。きっかけはやっぱり愛嬌たっぷりなところや人懐っこさなどの魅力に惹かれたことですね。そして無駄吠えしないことも大きな要素でした。ウチはもともとオヤジやおフクロの代から海外の犬を輸入してドッグショーなんかに出ていたんです。その頃は主にワイヤーフォックスやチャウチャウなどをやってましたね。でもね、ワイヤーフォックスって手入れが大変でとにかく吠えるんですよ。そしてチャウチャウは吠えないんですが性格が難しい子が多いんです。散々世話して

「バイドの子で振り分けが綺麗な子か、片パンチの子を探してもらえますか?」

さっそく僕はお客様のご希望をZAIHOOブリーダーネットワークに伝えて情報を集めます。ZAIHOOでは日本全国に提携するフレンチブルドッグ専門ブリーダーさんからご希望の子犬を探ることが可能です。ほんと今なら半年間ペットショップを探しまわっていた頃の僕にZAIHOOを紹介してあげたんです(笑)ご希望のカラーやタイプ、こだわりたいこと、細かくても気になること、迎えることの不安、何でもご相談していただけるほうがうれしいですね。僕はブリーダーさんではないので、何でもお話していただけるほうがうれしいんです。ブリーダーさんはこだわりや信念が強く、良質な子犬を作られる方が多い反面、頑固で口下手だったりする方も

きた飼い主でも気に入らないと嘔んだったりしますから(笑)でもそんな流れがあったからフレンチの魅力に惹かれたのかもしれないですね。——最近のフレンチ人気はどう思われますか?

うれしいことですね。フレンチの魅力はハマったら抜け出せませんから(笑)ウチから子犬を迎え入れた方が2頭目も迎え入れたと言っていたことも多いですね。でもフレンチは人気が出たことで情報があふれすぎていてのを感じます。とくに病気なんかの情報は多すぎて逆に構えすぎての方が多い気がしますね。もちろん

体の強い犬種ではありませんから、それなりのケアは欠かせないですし大切ですが、過敏になりすぎないほうがいいかなと思いますね。フレンチブルドッグという犬種を選択したなら、ある程度の病気やトラブルと上手に付き合っていく覚悟をもつ。そういう気持ちが大切なんだと思います。それでも心配な方は子犬

多いんです。ですから僕はブリーダーさんとお客様のクッション的な存在であればいいんです。マイルドな感じの(笑)あれでも子犬を探すことに関してはマイルドじゃないですよ。どちらかといえばワールドに探します。

お客様の長年のパートナーとなる「運命の子犬」を探すんですから。僕がキュービーやプリンを迎えた経験は、その重みも教えてくれましたからね。



はつん
フレンチブルドッグ専門サイト「ZAIHOO(ザイホー)」代表
URL <http://www.zaihoo.jp/>
お問い合わせ ☎054-534-3738

幸福な 出会いを!



model SAKUTAROU

子犬の両親を見れば、将来の姿を想像しやすいし、しつけや病気など、困った時にはいつだって相談に乗ってもらえる強い味方。何代にもわたって長いお付き合いが出来るような、信頼のおけるブリーダーを見つけよう!

インタビュー●はつん